

カラダもココロも健康に

いきいきらifu

no.75
2022.SPRING

徳大病院だより

特集

乳がん患者さんの 心臓をチームで守る ～腫瘍循環器チームについて～

■徳大病院ニュース

「徳島大学病院フォーラム2022春」
のケーブルテレビ放送について

■CLOSE UP

周術期の口腔ケア
(口腔機能管理)について

■tokudai-staff information

■地域連携の部屋

・地域連携病院④
「医療法人 至誠会 宮本病院」

■病院のお仕事いろいろ

・視能訓練士



徳島大学病院
Tokushima University Hospital

乳がんの心臓をチームで守る

患者さん～腫瘍循環器チームについて～



乳がんに対する薬物療法の副作用で生じる心臓障害から患者さんを守る本院の取り組みについて、循環器内科の山田医師にお話を伺いました。

がん治療と心機能障害について

医療が発達したことにより、がん患者さんの生存期間が大幅に長くなり、がんを克服した方々も増えました。しかしそのために、がんの治療中や治療後に心臓や血管、循環器系の病気を発症する患者さんも増えています。がんの治療には、副作用として心臓に悪影響を与える(心毒性)ものがあり、がん治療関連心機能障害と呼ばれています。さらに、循環器疾患のリスクが高い高齢の患者さんにがん治療を行うことも増えたために、近年がん治療における循環器疾患について注目が集まっています。



腫瘍循環器チーム

■説明は
徳島大学病院
循環器内科
特任教授

山田 博胤
(やまだ ひろつぐ)

■お問い合わせ先
内科外来
Tel: 088-633-7118

患者さんへひとこと

治療によってがんが良くなっても、将来心臓や血管の病気になるリスクがありますので、生活習慣病(高血圧、糖尿病など)には気をつけてください。また、何か気になることがあれば、まずかかりつけ医にご相談ください。

乳がん患者さんの心臓を守る取り組み

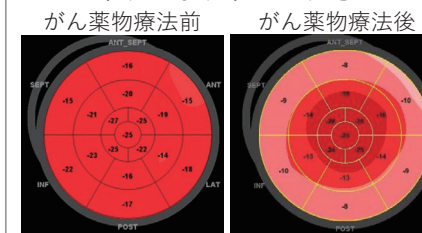
本院では、特に標準治療で用いられる薬剤に心毒性があることが知られている乳がんについて、循環器内科、乳腺甲状腺外科や超音波センターが、腫瘍循環器チームとして、がん治療関連心機能障害を早期に診断し、必要な患者さんには治療ができる体制を整えています。

薬剤の副作用は必ず発現するわけではないので、がん治療の主治医は治療方法に心毒性があるからといって、優れた効果が期待できる薬剤を使用しないわけにはいきません。本院では、超音波センターにおいて心毒性のある治療を行う乳がん患者さんの心機能を定期的にチェックし、症状が出現する前の心筋障害を発見した場合は、速やかに心臓を守る心保護療法を開始しています(図)。

この取り組みを始める以前は、息

切れや足の腫れなどの心不全の症状が出てから循環器内科を受診する患者さんがほとんどでしたが、心機能をチェックする体制が出来てからは、心不全で入院する乳がん治療中の患者さんはいなくなりました。また、心保護療法を行うことで、心不全の治療のためにがん治療を中断したり、薬剤などを減らしたりすることなく治療を完遂することができるよう、適切かつ円滑ながん治療にも貢献しています。

図 <スペクトルトラッキング心エコー図法による心筋障害の検出>



数字は局所心筋の収縮能を表している。治療前の収縮能は正常であった(赤色)が、がん薬物療法後には、一部の領域で心筋収縮能が低下した(ピンク色)。

今後の課題

現在、本院では、特に乳がん患者さんのがん治療関連心機能障害についてのサポート体制を整えています。しかし、乳がん治療で使用する心毒性のある薬剤が他臓器のがん治療

に用いられるようになったり、心毒性のある新しく複雑ながん治療も増えてきていたりすることなどもあるため、病院全体でがん患者さんの心臓を守る仕組みができればと考えています。

徳大病院ニュース

「徳島大学病院フォーラム2022春」のケーブルテレビ放送について

令和4年3月29日よりケーブルテレビ徳島、4月18日よりけーぶる12において、市民公開講座「徳島大学病院フォーラム2022春」を放送します。

テーマは第1部が「糖尿病～糖尿病の重症化を予防し、良い人生を送るために～」、第2部が「がん～ここまで進んだ最新のがん治療～」です。是非ご覧ください。

放送日	時間	内容	チャンネル
3月29日(火)	13:00～15:00	第1部	ケーブルテレビ徳島 111ch (11ボタン)
3月31日(木)		第2部	
4月 2日(土)	12:00～14:00	第2部	
4月 3日(日)		第2部	
4月18日(月)	14:00～16:00 16:00～18:00	第1部 第2部	けーぶる12 121ch (12ボタン)
4月20日(水)	14:00～16:00 16:00～18:00	第1部 第2部	
4月25日(月)	14:00～16:00 16:00～18:00	第1部 第2部	
4月27日(水)	14:00～16:00 16:00～18:00	第1部 第2部	



周術期の口腔ケア (口腔機能管理)について

今回は、本院口腔管理センターが行っている周術期口腔機能管理(周術期口腔ケア)についてご紹介します。

■説明は
徳島大学病院
口腔管理センター長
青田 桂子
(あおた けいこ)

■お問い合わせ
口腔管理センター
Tel: 088-633-7371



● 周術期の口腔ケア

口の中には、約600種類の細菌が存在し、歯垢1mgには約1億個の細菌が存在しています。身体が健康な場合であれば問題のない細菌も、手術によって免疫が低下すると、肺炎や感染症などの合併症を引き起こし、治療を長引かせることがあるため、手術前に口の中をきれいしておくことはとても重要です。

病気が診断されてから入院～手術～回復までの期間を周術期といいます。合併症を防ぎ、円滑な治療のために本院では、平成24年から以下のような周術期の口腔機能管理(周術期口腔ケア)を開始し、令和2年度には約1,600名の患者さんに実施しました。

歯の汚れを染めると…



歯垢1mg中に
約1億個の細菌



周術期口腔ケアの内容

- ・包括的口腔ケア(口腔内清掃、衛生指導など)
- ・歯性感染巣のコントロール(むし歯、歯周病治療)
- ・口腔機能の維持管理(咀嚼機能、唾液腺機能の維持など)
- ・手術時の気管挿管による歯の損傷予防のためのマウスプロテクタ作製

患者さんにひとこと

口腔の健康は全身の健康につながります。口腔のお困りごとがあれば歯科医師、歯科衛生士にご相談ください。また、かかりつけ歯科医を持って継続的な口腔機能管理を行うことで、いざ病気が判明した時にスムーズに治療にとりかかれます。

本院では、全身麻酔手術のうち、特にかん手術、心臓血管手術、脳外科手術、臓器移植手術、人工関節置換手術などを受ける患者さんを対象に口腔ケアを行っています。それ以外の全身麻酔手術の患者さんも地域の歯科診療所と連携し歯科的サポートを受けていただけるようにしています。

本院での全身麻酔手術が決定した患者さんには主治医より口腔管理センターへの受診をお願いしています。本センターでは、口腔内診査を行い、それを基に口腔管理計画を立て、治療の必要な方には本院歯科または地域の歯科診療所を紹介するとともに、マウスプロテクタが必要な方には型取りし、作製を開始します。手術前日には口腔内の細菌をできるだけ少なくするため歯科衛生士が口腔ケアを実施します。術後も状態に応じて、歯科医師、歯科衛生士が口腔ケアを行い、退院に際しては継続的な口腔ケアを地域の歯科診療所に依頼しています。



口腔管理センターのスタッフ

● 今後の目標

令和4年度には、本院で全身麻酔手術を受ける患者さん全員に口腔ケアを受けていただくことが目標です。また今後、抗がん剤治療、頭頸部の放射線治療を受ける患者さんにも口腔ケアの範囲を広げ、円滑な治療に貢献できるように努めていきたいと考えています。



副院長(診療担当)
放射線科長

原田 雅史
(はらだ まさふみ)

4月より診療担当の副院長を拝命しました原田雅史と申します。診療担当として患者様の皆様に最も近い医師として、大学病院の診療を支えていくお世話ができればと思っています。診療での改善点等ありましたら、気軽に直接私宛てに、あるいは周りの病院スタッフにお伝えいただき、私まで届けていただければ幸いです。病院内で働く医療従事者全員の能力を最大限に引き出せるように、診療態勢と内容の整備に努めていく所存ですので、皆様のご協力を頂戴できれば幸いです。よろしくお願い申し上げます。

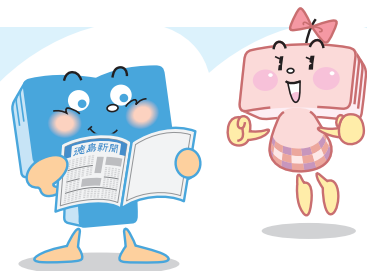


副院長(看護担当)
看護部長

上田 美香
(うえた みか)

令和4年4月より看護部長に就任しました上田美香です。看護部は看護師・助産師・看護補助者を合わせて約850名を抱える、院内で一番大きな組織です。その組織の長として副院長としても病院経営に関わらせて頂くことになり、重責に身の引き締まる思いです。

私たち看護職は、24時間365日、継続して患者さんに寄り添う一番身近な存在です。常に患者さんご家族を看護の中心に置き、安全で安心していただける看護サービスの提供を目指しています。看護職員がいきいきとやりがいを感じながら看護ができる組織づくりに力を注ぎます。どうぞよろしくお願いいたします。



「トクシンに載っとるでよ！」
地域のニュースが人の間を結びます

郷土と共に歩む
徳島新聞社

ご購読のお申し込みは ☎0120-46-1940
www.topics.or.jp



地域連携の部屋

このコーナーでは、徳島大学病院が徳島県や他の医療機関の皆さまと協力し、患者さんへのよりよい医療の提供を目指してすすめている、様々な取り組みについて取り上げます。

Vo.44

地域連携病院④「医療法人 至誠会 宮本病院」

今回は、阿南市羽ノ浦町にある宮本病院をご紹介します。

■地域の身近な病院として

宮本病院は、「地域の皆様の「かかりつけ医」として、また「医療型療養病院」としての役割を確実に果たせるよう努めます」との理念の基、患者さんに寄り添う病院として地域医療に貢献しています。

医療療養病床(慢性疾患のため継続的な入院治療を行う病床)を48床有しており、主に県南の病院から患者さんを受け入れています。入院患者さんの多くは、がん、心不全、呼吸器不全、パーキンソン病、認知症などの末期状態により日常生活動作が困難な方で、主に終末期医療を行っています。また、近隣の介護施設入所者の入院にも対応しています。

さらに、在宅で看取りを希望される患者さんには訪問診療を行い、訪問看護ステーション阿南と協力し、在宅での終末期医療にも取り組んでいます。

外来においては、徳島県に多い糖尿病の診療にも尽力しており、糖尿病外来を設けています。特に徳島県糖尿病療養指導士(看護師、管理栄養士、薬剤師)による指導は、患者さん



徳島県糖尿病療養指導士の皆さん

も気軽に話やすく、患者さんのお話を傾聴しながら、寄り添う指導を実践しています。

■肛門・排便障害外来

宮本病院は臨床肛門病技能認定施設や日

本大腸肛門病学会認定施設です。肛門疾患(痔核、裂肛、痔瘻、肛門周囲膿瘍など)や排便障害(便秘、下痢、便失禁など)の専門治療にも力を入れています。肛門手術は痛みの軽減が期待できるものを積極的に行い、日帰り手術や短期入院での治療を行っています。



■徳島大学病院との連携

宮本病院は徳島大学病院の県南部における重要な連携先の一つです。主にがん末期に係る診療連携をしており、特に在宅での看取りを希望する患者さんの診療に携わっています。また、宮本病院からは大腸がんの患者さんを大学病院消化器・移植外科へ、また、骨盤臓器脱(膀胱瘤など)の患者さんを大学病院泌尿器科へ紹介しています。

■宮本病院からのメッセージ

宮本病院は昭和63年に開院し、30年を迎えました。これもひとえに地域の皆様のご支援の賜物だと感謝しています。医療法人至誠会の「至誠」には何事にも真心をもって誠心誠意努力し、社会のため他人のために力を注ぐという意味があります。これからも地域の皆様に信頼されるかかりつけ医、また安心して入院いただける病院であり続けるため、職員一同日々努力して参ります。

「地域医療連携」について

徳島大学病院患者支援センターでは、大学病院と地域の医療機関との円滑な橋渡しをめざして、大学病院での高度先進医療から、患者さんがお住まいの地域の診療機関と連携し、在宅療養へと継続できるようにサポートしています。

問い合わせは

医療法人 至誠会
宮本病院
徳島県阿南市羽ノ浦町
古庄古野神4-14
TEL.0884-44-4343

■説明は
宮本 英典(みやもと ひでのり)
副院長



病院のお仕事いろいろ

患者さんに
寄り添う支援を



医療技術部
リハビリテーション部門
視能訓練士

伊月 あゆみ
(いつき あゆみ)

人が外界から得る情報の80%が目から入ってくると言われています。目でものを見る働き(視機能)に障害があると日常生活・社会活動に困難が生じます。視能訓練士は、視機能をサポートするスペシャリストです。業務は主に眼科一般の視機能検査(視力、眼圧、視野検査など)、眼科専門分野(弱視、斜視など)の訓練指導、ロービジョン(先天異常、疾患や事故によって視機能が低下した状態)の患者さんへの補助具選定やリハビリ指導を行うことで、眼科を受診する患者さんが必ず接する職種です。また、集団検診での視機能スクリーニングにも携わります。

視能訓練士が行う眼科での検査は患者さんの協力なしでは成り立たない検査がほとんどで、より正確な検査結果を出すためにも分かりやすい検査説明や患者さんの集中を切らさないよう迅速な対応と声がけが大切です。さらに同じ疾患でも病気の程度により見え方に差があり、患者さん一人一人に合わせた対応も必要となってきます。また、大学病院という場所柄、重い症状の患者さんや、眼科以外で重い疾患を抱えた患者さんも多く、そのような患者さんの中には、「見えない」という固定観念などの心理的な要因か

ら、実際の目の状態以上に見えにくいといった心因性視力障害の方がいるなど、大学病院特有の難しさもあります。

伊月さんは、医療職の中で女性が働きやすいということで視能訓練士を目指したそうですが、視力矯正の眼鏡作製などのサポートにおいて、患者さんの年齢や性格によって異なる様々なニーズを汲み取り、患者さんから見えやすくなったと喜ばれた時はやりがいを感じ、「この道に進んで良かったと思います。」と語っていただきました。

また、業務を行う上で『患者さんの目線に立って考える』ということを大切にしています。「患者さんやご家族が治療や訓練をどのように考えているのかを探っていくことが診療に必要な不可欠です。そのため話しやすい環境を作っておくことや相手の話に耳を傾ける姿勢を大切にしています。」とのことでした。

今後の目標については、「特に斜視や弱視の分野の知識と経験を深め、より多くの患者さんの役に立ちたいと思います。」とお話してくれました。



治験を実施しています

現在、開発中の医薬品の候補(治験薬)あるいは医療機器を用いた治験を、以下の病気を対象に実施しています。参加いただいた患者さんにおけるデータを集め、有効性や安全性を確認して医薬品や医療機器としての「承認」を得ることが治験の目的ですが、参加いただいた患者さんにとって良い効果をもたらす場合もあります。まずは、よく情報を得ていただきたいと思っておりますので、**お気軽にお問い合わせください。**

- 尿路上皮癌
- 筋層浸潤性膀胱癌
- 肺癌
- 転移性去勢抵抗性前立腺癌
- 小児2型糖尿病
- 腎細胞癌
- 多発性骨髄腫
- てんかん
- 潰瘍性大腸炎
- 統合失調症
- 間質性膀胱炎
- 心臓リハビリテーションの適応となる心疾患
- ALS(筋萎縮性側索硬化症)
- 慢性線維化性間質性肺疾患

ご協力
願ひ
します。



ちけん君は日本医師会治験促進センターのキャラクターです。

問合せ：総合臨床研究センター
tel.088-633-9294

入院日用品レンタルサービス「CSセット」専門企業



『CSセット』とは?
入院時に必要となる日用品やおむつ、タオル類、衣類等を洗濯付きでレンタルできるサービスです。

DELAN
株式会社エラン

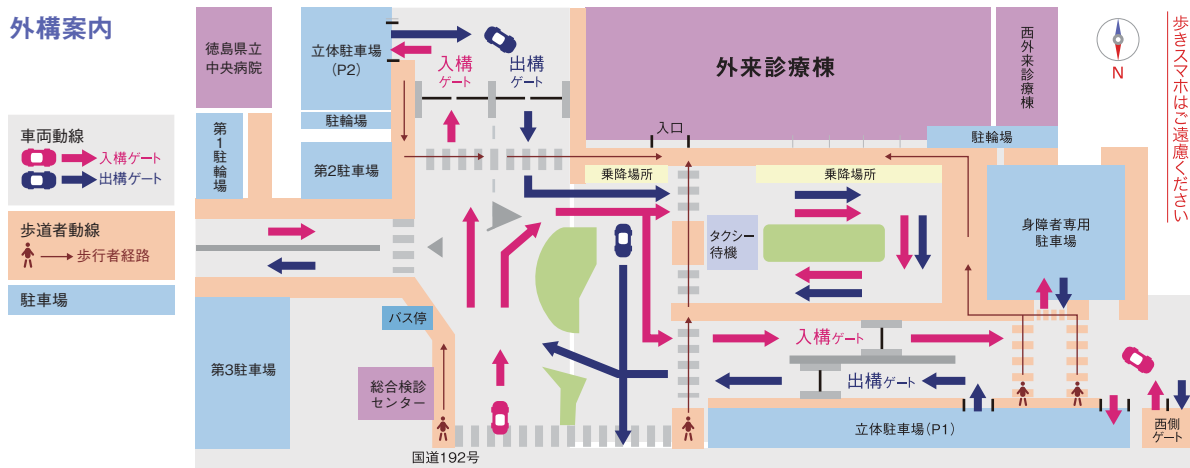
東証一部上場(証券コード:6099)

お問い合わせはこちら

TEL 0263-29-2680(9:00~17:00)

Mail request@kkelan.com

外構案内



各相談室・検査の連絡先

- **緩和ケアセンター**
(相談受付/月～金曜8:30～17:00) Tel/088-633-7457(Fax兼用)
- **PET/CT検査**(受付/月～金曜9:00～17:00)
Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-979
- **セカンドオピニオン外来**(予約受付/月～金曜9:00～17:00)
Tel/088-633-9654 Fax/0120-335-979 ※完全予約制
- **遺伝カウンセリング外来**(予約受付/月～金曜9:00～17:00)
Tel/088-633-9218 Fax/088-633-9219 ※完全予約制
- **総合臨床研究センター**(受付/月～金曜9:00～17:00)
Tel/088-633-9294 Fax/088-633-9295
- **アンチエイジング医療センター**(予約受付/月～金曜9:00～16:00)
Tel/088-633-9106 Fax/0120-335-979 ※完全予約制
- **美容センター**(予約受付/月～金曜9:00～16:00)
Tel/088-633-7047 ※完全予約制
- **患者支援センター【医療相談窓口】**(相談受付/月～金曜8:30～17:00)
Tel/088-633-9107・088-633-9056 Fax/0120-335-979

徳島大学病院へのご寄付

本院では、一層充実した医療を提供するために、寄付金というかたちで皆様のご厚志を生かしていきたいと考えています。皆様のご支援は、①病院設備・サービスの充実②診療環境の充実③医療スタッフの育成④地域医療への貢献のために充てさせていただきます。ご寄付をいただき心から感謝いたします。

●寄付者のご芳名 ご同意していただいた方に限り、ここにご芳名を掲載させていただきます。

※2021/10/16～2022/1/31時点(順不同)

中野 眞弓様 植村 新様 (術前野写真館様) 天真 いずみ様
小原 治様 大串 昇様 楠本 正志様 河崎 芳正様
土内 彰様 宮崎 厚子様

●お申し込み状況 総件数：33件 総額：22,223,000円
※2021/4/1～2022/1/31時点

●お申し込み方法 徳島大学病院のホームページでご覧いただけます。来院中のお申し込みは、経理調達課経理・管理係または、お近くの当院スタッフまでお申し出ください。

●お問い合わせ 経理調達課経理・管理係
(月～金8:30～17:00)Tel/088-633-7016

 **徳島大学病院**
Tokushima University Hospital

〒770-8503 徳島県徳島市蔵本町2丁目50-1

<https://www.tokushima-hosp.jp/>

■ご意見・ご要望は右記までお寄せ下さい。bsoumuss1@tokushima-u.ac.jp

発行者 病院長 香美 祥二
編集部会長 楊河 宏章
広報委員会 湯本 浩通 金山 博臣 武田 憲昭 生田 貴久
委員 藤井 志朗 久保 亜貴子 大川 敏永 桐野 靖
武川 香織 長谷 奈生己
泉 朗 兒玉 実和 小賀野 剛 西村 伸次
大坂 誠一 田木 真和
事務担当 総務課広報・企画係 Tel.088-633-7697